



2024年6月28日

各位

会社名 サイジア株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 山崎 徳之
(コード番号: 6031)
問合せ先 代表取締役会長兼 COO 吉井伸一郎
(TEL.050-5840-3147)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社の最近の業績動向を踏まえて、2023年8月14日に公表した当社の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年6月期(2023年7月1日~2024年6月30日) 通期連結業績予想数値の修正

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,800	470	455	270	26円31銭
今回修正予想 (B)	1,730 ~1,790	490 ~545	475 ~530	260 ~300	25円27銭 ~29円16銭
増減額 (B-A)	△70 ~△10	20 ~75	20 ~75	△10 ~30	—
増減率 (%)	△3.9 ~△0.6	4.3 ~16.0	4.4 ~16.5	△3.7 ~11.1	—
(ご参考) 前期実績 (2023年6月期)	2,437	380	376	260	21円35銭

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、2023年6月期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。株式分割を考慮しない場合の2023年6月期の1株当たり当期純利益42円71銭となります。

2. 2024年6月期通期連結業績予想の修正理由について

当社は、2023年6月26日に開示した「連結子会社のネット広告サービス事業の事業譲渡に関するお知らせ」に記載の通り、グループの完全子会社であるデクワス株式会社の手がけていたリターゲティング広告事業を売却し、中期経営計画の元でグループの主要子会社であるZETA株式会社（以下「ZETA」という）の手がけるCX事業の「ZETA CX シリーズ」へと注力してきました。

その結果、当社グループの収益性は向上してきており、ZETAの第18期個別決算はここまで、前回の業績予想を超えて推移をしております。一方で、当社が従来から展開してきたMEOサービスは、マーケットが飽和しつつあり、トレンドとしては下降しております。「ZETA CX」シリーズは完全内製のため粗利益率が非常に高い製品となっていますが、MEOサービスはYext社からのライセンス料の仕入れがあることにより粗利益率が「ZETA CX」シリーズよりは低くなっています。期初の予想に対して、CX事業は好調、MEO事業は不調であったため、営業利益においては期初の予想を超過、売上高は期初の予想を下回る結果となりました。なお、これは当社グループにおいてCX事業へとシフトしていく取り組みが予想を超えて進んでいるためであり、また営業利益が予想を超過していることから、構造改革が順調である結果と言えます。

当社の今期の業績予想の修正を、この時点において、レンジ形式で発表する理由は、ZETAの売上高が第4四半期に偏重の傾向があるため、現時点においても、とりわけZETAの売上高及び利益について、決算処理の最終の精査を続けていることによるものです。

また、本日併せて開示をいたしました、当社の決算期（事業年度の末日）の変更により、今後は決算期末における処理がより迅速に進むと思われれます。

3. 業績等の予想に関する注意事項

上記の通期連結業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以 上